

# 早稲田のいぶき

## 鶴巻小の試験栽培



鶴巻小の花壇を畑に作り変え中!



みようがの地下茎



早稲田みようがプロジェクトに  
取り組んでいます。  
環境美化分科会



## 地域センターのみようが成長記録



6月18日



5月7日



4月23日



4月16日

皆さんは「早稲田みようが」をご存じですか？早稲田みようがは江戸時代に現在の早稲田鶴巻町、山吹町で生産されていたみようがで、宅地化により水田とともにみようが畑も無くなってしまったとのことでした。

環境美化分科会では、この早稲田みようがの再生プロジェクトに取り組んでいます。

鶴巻小学校の協力を得て、早稲田みようがの試験栽培を行うこととなりました。寒さの残る2月、早稲田みようがの再生に取り組んでいる農家の井之口さんの指導の下に地区協メンバーが校庭内の花壇を農地に作り変えて、地下茎を植えました。その後、春のやわらかな日差しを浴びて、又、梅雨時の雨にうたれて、実りの秋に向かって早稲田みようがは順調に育っています。

また、地域センターの敷地でも植木鉢で試験栽培を行っており、写真のとおり順調に生長しています。

新学期が始まる頃には、立派な「早稲田みようが」が出来るかと思うと今からわくわくしています。

この試験栽培が成功すれば、江戸川小学校、早稲田小学校などでも栽培を行って行く予定です。そして、街のあちろちろに「早稲田みようが」が見られるようになり、谷中の生麦のように、「みようが」と言えば早稲田、早稲田と言えは「みようが」と言われる日が来ることを願って今後も取り組んでいきます。

# 命を守る授業・交通安全教室

●江戸川小学校



死角ゾーンに入ってみた



後輪がコーンに当たった！



トラックの大きさを体感



木陰で学ぶ自転車交通安全教室

## 青パト活動継続中！

●早稲田小学校

安全安心分科会は青パトロールカーを出動して児童の下校時に合わせた見守りと声掛け活動を継続して行っています。入梅に入った6月12日、朝から雨が強く降っていましたが、下校時には雨もようやく上がり、4月に着任した広瀬出張所長も加わって早稲田小学校の児童の下校を見守りました。



気をつけてね！と声を掛け



下校時には雨も上がりました

6月3日、江戸川小学校で低学年を対象に「命を守る授業・交通安全教室」を開催しました。

まず、体育館で婦警さんの交通安全の話しを聴き、校庭に移動して運転席からの死角を理解する死角体験を行いました。年々児童数が増えている江戸川小学校の1年生24名、2年生22名の総勢46名一人ひとりが2トトラックの運転席に乗り死角を体験してもらいました。1年生はトラックの運転席に乗るのにも一苦労でしたが、2年生は昨年の経験を活かし、児童同士がトラックの周りの死角ゾーンに入って協力をしてくれました。

次に横断歩道で起こる内輪外輪差による左折事故再現では後輪の車輪がコーン

を潰す様子を実施。潰れるコーンに横断歩道前の安全な立ち位置を認識してもらいました。

最後は木陰に入って再び婦警さんの自転車交通安全教室です。低学年は自転車に乗らないと思っていました。婦警さんからの自転車チェックの基本「ブレーキ・タイヤ・ハンドル・車輪・ベル」の説明に豆ライダーたちは真剣に聞き入り、合言葉「ぶ・たは・しゃ・べる」を復唱しました。

真夏のような陽が射す中、2時限休みなしの授業となりましたが、熱中症にもならず「命を守る授業」は無事終了できました。

# 榎ふれあいデー

1月13日(日) 晴れ

ただじゅんさんと遊ぼう

新春は恒例のただじゅんさん一座の獅子舞で幕開けです。祝い歌あり皿回しあり和太鼓の演奏と賑やかに続き、今回は「なにぬのやさん」による紙芝居ならぬ布芝居の「一寸法師」に、珍しさから寒さも忘れて子どもから大人まで見入っていました。

また、榎ふれあいデー自慢の昔ながらの手作り甘酒の振る舞いには列ができるほどで、スタッフははてんでこ舞いとなりました。

お子さんが撥で太鼓をたたく様子や、お獅子と一緒にカメラでパチリ、保護者の方も大忙しでしたが、お正月らしい行事に参加できて楽しかった！と嬉しいコメントを頂きました。



2月2日(日)

鬼のお面作り、節分豆まき。

雨降りのため中止

3月2日(日)

ちいさなお雛様作り。

雨降りのため中止

4月6日(日) 曇りのち雨

鶴巻フェスティバルに参加

当日は鶴巻フェスティバルが同時開催しましたが、時間の経過とともにお天気は下り坂、寒く小雨も降ってきました。フェスティバルの出品者同様、用意した陣取りゲーム、板ゴリラ作りなど早々に片付けることになりました。

5月4日(日) 晴れ

ミニ鯉のぼり作り

端午の節句に合わせてミニ鯉のぼりを作ってもらいました。小さな子どもさんには保護者の方が協力。一人ひとりが自分のイメージできれいで可愛い鯉のぼりをつくり、満足そうに持ち帰られました。

※皆さんに喜んでもらえた事に特に喜んでいたのは、難しい矢車を事前に作り、用意したスタッフかもしれないですね？



6月1日(日) 晴れ

木工クラフト

ブルーシートに丸、四角、三角様々な木工の材料を広げ、それぞれが木材を選び、自分のイメージを膨らませ黙々と作業開始。見ていると意外にトンカチを使って釘打ちの作業が上手でしたが、小さな木を切るなどのノコギリ作業はさすがにスタッフがお手伝い。完成した作品のなんと芸術作品？と感じしきりとなりました。



# 歴史と文化のまち歩き

●防衛省市ヶ谷台ツアー

市ヶ谷地区にある防衛省は靖国通りに面して正門がありま。我々一行は正門で厳しいチェックを受けた後、広報展示室、市ヶ谷記念館と見学しました。

●印刷博物館とVRヴァーチャルリアリティシアター見学

神田川沿いを飯田橋方向へ進むと銀色に輝くビルがあります。そこが、トップパン小石川ビルです。このビルの中に印刷博物館とVR(ヴァーチャル・リアリティ)シアターがあります。印刷博物館では、紀元前1万5千年から今日に至るまでの印刷の歴史を知ることができます。また、博物館内の工房「印刷の家」では、活版印刷を体験することが出来ます。

●記念館の1階は舞台も床も木製で、昭和9年陸軍士官学校の大講堂として作られました。ここで、明治から平成までの各時代の新聞記事や写真などをおり交せて作成された「市ヶ谷台の歩み」を観ました。



防衛省市ヶ谷記念館正面玄関で

そして、お待ちかねのVR(ヴァーチャル・リアリティ)シアターです。今回は「マチュピチュー太陽の聖地」と「東大寺大仏の世界」の2つのプログラムを見ることができました。VRシアターの名のごとく本当にマチュピチュウにいるかのような体験ができます。また、「東大寺大仏の世界」では、奈良の大仏の目から見た風景を見ることができ、一行は大満足しました。

平成25年度 榎地区協議会まちづくり活動支援補助金精算書

補助事業名	事業内容		収入額(A)	支出額(B)
榎地区ふれあいまちづくり事業(榎地区の未来を考え、歴史・安全安心・環境・人とのふれあいに重点を置き、次世代に受け継ぐ事業)	活動推進事業	広報誌の発行 イベント等でのPR	1,628,850円	495,492円
	地域活性分科会	歴史と文化のまち歩き コミュニティ講座 みどりのクラブ事業		48,082円
	安全安心分科会	安全・安心出前授業 高齢者防犯講話会 安全・安心パトロール		96,871円
	環境美化分科会	地域の緑化推進活動 ガーデニング講座 「放置自転車追放・ポイ捨て禁止」キャンペーンの実施		219,029円
	地域ふれあい分科会	榎ふれあいデー 榎ふれあいクッキング		118,726円
計			1,628,850円	978,200円
返還額(A-B)				650,650円

平成26年度 榎地区協議会まちづくり活動支援補助金予算書

補助事業名	事業内容		収入額
榎地区ふれあいまちづくり事業(榎地区の未来を考え、歴史・安全安心・環境・人とのふれあいに重点を置き、次世代に受け継ぐ事業)	活動推進事業	広報紙発行 イベント等でのPR	517,000円
	地域活性分科会	歴史と文化のまち歩き 地域活性事業(コミュニティ講座) 「みどりのクラブ」運営	123,868円
	安全安心分科会	安全・安心出前講座 高齢者防犯講話会 「ピーポ110番のいえ」加入呼びかけ 安全・安心パトロール実施	114,000円
	環境美化分科会	地域緑化事業・植栽の維持 ガーデニング講座 “放置自転車追放”“ポイ捨て禁止”キャンペーン 早稲田みようがプロジェクト	228,200円
	地域ふれあい分科会	榎ふれあいデー 榎ふれあいクッキング	237,280円
計			1,220,348円

5月19日に榎地区協議会総会を行い、平成25年度活動報告・決算報告・監査報告及び平成26年度活動計画及び予算の各議案が承認されました。

●榎地区協議会は住民の皆様の意見を集約し、また行政の方針を検討し、地域の考えを区政に反映していく窓口として、がんばっていきます。

お問合せ・ご応募は 榎地区協議会事務局(榎町特別出張所内)まで  
 TEL 03-3202-2461 FAX 03-3202-2476  
 〒162-0042 新宿区早稲田町85番地 榎町特別出張所内 榎地区協議会事務局  
<http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/division/261500enoki/index.html>

